



平成20年7月10日

各 位

会 社 名 E・Jホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司
(コード番号 2153 東証第2部)
問合せ先 管理本部副本部長 浜野 正則
(TEL. 086-252-7520)

特別損失の発生および連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年5月期の連結会計年度において特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせするとともに、平成19年6月1日付の『「E・Jホールディングス株式会社」設立のお知らせ』で公表しました、平成20年5月期（平成19年6月1日～平成20年5月31日）の連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の発生

連結子会社が保有する固定資産について、将来の回収可能価額を見直した結果、1億39百万円の減損損失を計上する見込みであります。

2. 平成20年5月期連結業績予想数値の修正（平成19年6月1日～平成20年5月31日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,200	370	460	280
今 回 修 正 予 想 (B)	18,565	350	588	△289
増 減 額 (B-A)	365	△20	128	△569
増 減 率 (%)	2.0	△5.3	28.0	—
前 期 実 績 (平成一年一月期)	—	—	—	—

3. 修正の理由

当期の連結業績予想は、受注高が順調に推移したことにより完成業務が増加し、売上高は前回発表予想数値を3億65百万円上回る見込みであります。営業利益は、外注費の増加等により、前回発表予想数値をわずかに下回る見込みであります。経常利益につきましては、有価証券利息96百万円、匿名組合出資収益28百万円の計上等により、前回発表予想数値を1億28百万円上回る見込みであります。減損損失1億39百万円、投資有価証券評価損1億26百万円等の特別損失を計上するほか、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、法人税等調整額3億92百万円を計上することなどにより、当期純損失となる見込みであります。

なお、当社の業績予想および配当予想につきましては変更ありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上